

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	蔵のまち観光交流センター	所在地	大字須坂352-2			
施設分類	委託料	所管課	産業政策課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	302.36			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	該当			
設置根拠	須坂市蔵のまち観光交流センター条例	設置の目的・経緯	まゆぐらを活用し、観光客への観光情報の提供を行うとともに、地場産品の紹介や販売を通じ、市民と観光客の交流を深め、観光振興、賑わい創出に繋げる。		交通アクセス	須坂駅から徒歩5分
事業内容	観光案内及び交流	貸付の有無	有	多目的ホール		
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設の維持管理			
備考（その他特記事項）						

2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上	2	地下	-	建築面積	163.36	延床面積	302.36
構造 (主たる建物)	W造				建築年度 (主たる建物)	2008	築年数 (主たる建物)	17
帳簿原価	112,694,500				耐震化の状況	新耐震基準施設		
減価償却累計額	75,408,837				バリアフリー対応	×		
老朽化率	67.0%				省エネルギーの対応状況			
過去10年の改修費用	4,449,500				施設の劣化状況	2023年度改修		
維持管理・更新投資の充足度	5.9%							

3 施設コスト

単位（千円）

		2023	2024	2025	3年間の平均値
費用	人件費	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持補修費	404	0	0	135
	減価償却費	4,593	4,733	4,733	4,686
	指定管理料	9,190	9,930	9,890	9,670
	その他	858	848	870	859
	費用合計	15,045	15,511	15,493	15,350
収入	利用料等収入	0	0	0	0.0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0.0
収入合計		0	0	0	0.0

収支	-15,045	-15,511	-15,493	-15,350
利用者一人当たりコスト	1.49	1.43	1.72	1.53

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されていない	
開館時間	平日	観光交流処: 9時から17時 多目的ホール: 9時から22時
	休日	観光交流処: 9時から17時 多目的ホール: 9時から23時
休館日	12月29日から1月3日	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	10,113	10,878	9,024	10,005	-10%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

多目的ホール	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	1,875	2,122	1,043	1,680	-38%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数	2,000	2,000	2,000	2,000	0%
年間利用時間	395	474	421	430	-2%
年間利用可能時間	4,680	4,667	4,667	4,671	0%
稼働率	8.44%	10.16%	9.02%	9.21%	-2%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	蔵のまち観光交流センター
---------	--------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
合計		-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館稼働率	D	-2	過去3か年平均が10%未満
合計		-3	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	車いすでの移動が困難
合計		2	

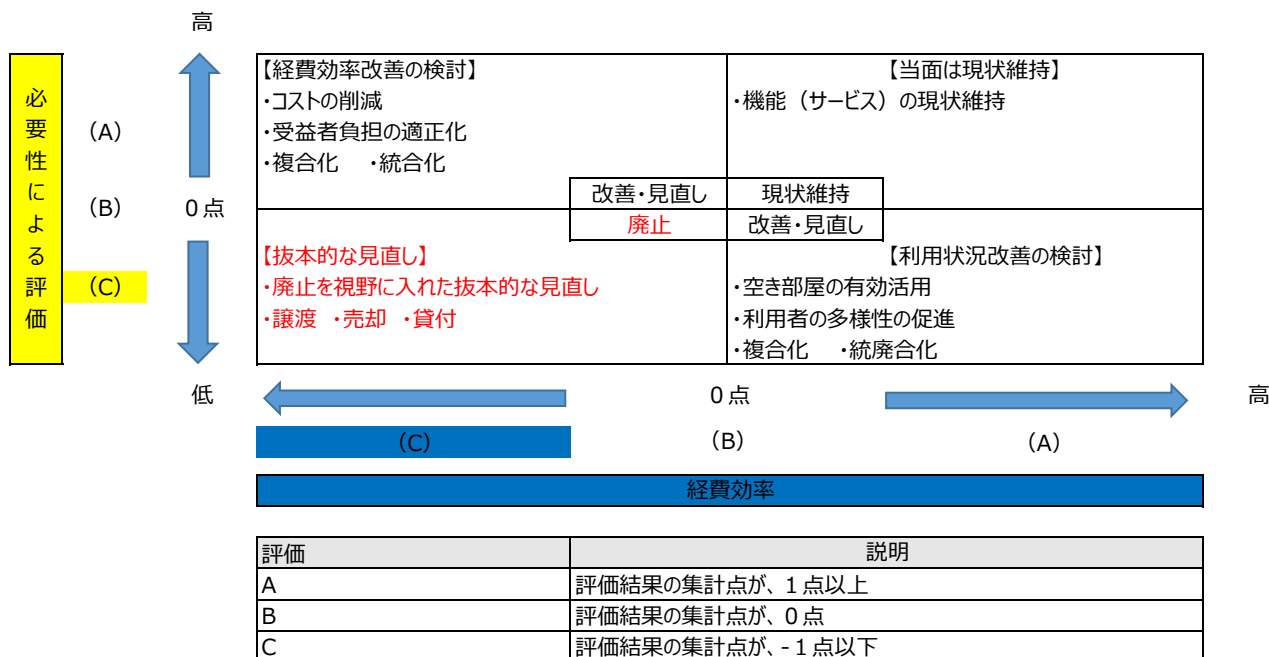
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-1
縦軸	必要性による評価	-3
	合計点数	-4

【抜本的な見直し】



3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	2
縦軸	必要性和経費効率からの評価	-4
	合計点数	-2

【複合化等の検討】

